自分の命は自分で守ろう
春の全国交通安全運動
4月6日～15日

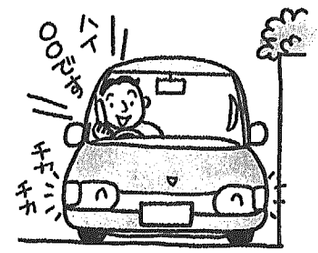
平成12年中の交通事故発生件数は、全国で93万1,934件でした（人身事故に限る）。このうち死者数は9,066人で、負傷者数は115万5,697人でした。発生件数は８年連続で過去最悪の記録を更新し、負傷者数も２年連続で100万人を超え、最悪の数値となりました。

４月６日から15日まで、春の全国交通安全運動が実施されます。スローガンは「手を上げた　にっこり笑顔が　渡る道」、運動の重点は「子供と高齢者の交通事故防止」、「自転車の安全利用の推進」と「シートベルトの着用とチャイルドシートの正しい使用の徹底」です。

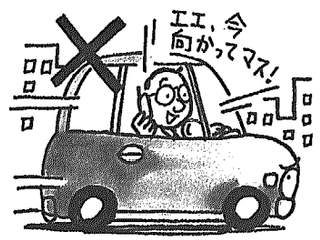
自分の命は自分で守ることを再認識して、交通事故防止に努めましょう。

大変危険です！運転中の携帯電話

自動車を運転するときは、事前に電源を切っておくか、ドライブモードに切り替えておくようにしましょう。電話を利用するときは、自動車を道路の左側に止めて、安全確認をしてから話すようにしましょう。



携帯電話を利用するときは、車を安全な場所に止めてから話しましょう。



自転車に正しく乗りましょう

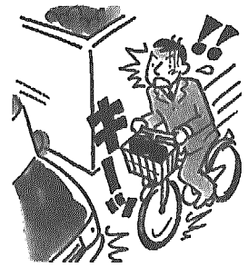
交通事故の状態別死傷者数で、圧倒的に多いのは自動車によるものですが、次に多いのが自転車によるもので、15万人を超えています。

危険な乗り方はやめる

飲酒運転、ジグザグ運転、二人乗りなどは禁止されています。また、道路標識等で通行が認められている歩道でも、歩行者の妨げになるような運転をしてはいけません。

一時停止は必ず守る

一時停止の標識のあるところ、見通しの悪い曲がり角や狭い道路から広い道路に出るときは、必ず一時停止をして、左右の安全を確かめましょう。



夜間に走行するときは、目立つように心がける

自動車の運転者から見やすい服装で、夜間は必ずライトをつけましょう。また、反射材の活用を心がけることも大切です。

もし事故を起こしてしまったら…

交通事故はいつどこで起きるか、予測がつきません。事故を起こしたらどうするか、事故に遭遇したらどのように対処するか、正しい対応を知っておきましょう。

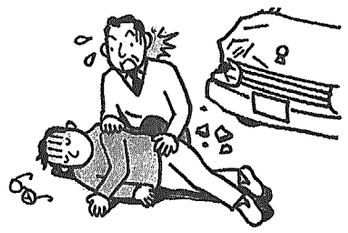
◎あわてないで、第一に負傷者を救護し、安全を確保する。

◎軽いケガでも医師の診断を受ける。

◎どんな小さな事故でも、必ず警察へ届け出る。特に人身事故の場合は、人身扱いの届け出をする（保険金請求の際に、交通事故証明書の提出が必要となり、警察へ届け出がないと発行されません）。

◎相手の名前や住所を確認する。

◎契約の損害保険会社または代理店へ事故の連絡をする（示談や修理の前に、保険会社の承認を得ることが必要です）。



◎困ったときは、県や弁護士会などに設置されている交通事故相談所に相談する。
・新潟交通事故相談所（県庁内）
☎２８５－５５１１（代）
受付は、平日の午前９時から午後３時まで

春の火災予防運動
―４月１日～７日―

空気が乾燥し、風の強い日が多く、火災が発生しやすい時期になりました。火の元には十分ご注意ください。

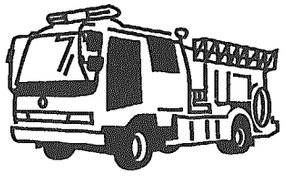
横越町消防団
横越町分署

正しい「119番」通報をするために

◆「いざ」というとき、あわてないように、あなたの家の住所、最もわかりやすい目標を書いて貼っておきましょう。

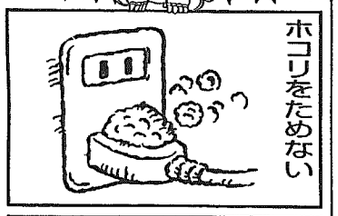
◆携帯電話・ＰＨＳで通報するときは

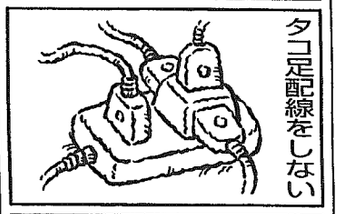
・局番なしで１１９番する。
・携帯電話やＰＨＳ電話での通報であることを告げてください。
・電話の電源は、場所の再確認のため消防本部等からかけ直すことがありますので、通報後10分くらいは切らないで下さい。
・近くに他の電話があれば、その電話をご利用ください。
・ＰＨＳ電話の場合は、移動しながら通報すると通話が切れてしまうことがありますので、立ち止まって通報して下さい。

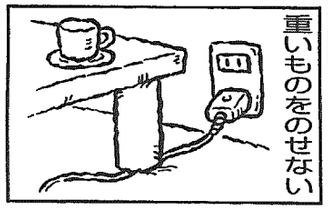


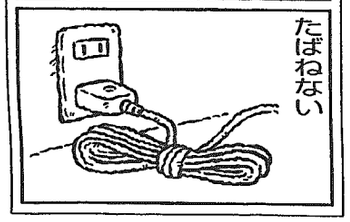
火災発生のお問い合わせは、
テレホンサービス
☎382－0119

消子ちゃんの！住宅防火パトロール
プラグ・コードの定期点検


ホコリをためない


タコ足配線をしない


重いものをのせない


たばねない

住宅火災で亡くなられた方の、
半数以上がお年寄りです。

お年寄りを火災から守るため、ご近所の皆さんのご理解とご協力をお願いします。